

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 田辺工業株式会社

コード番号 1828 URL <http://www.tanabe-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四月朔日 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務部長 (氏名) 小野 彰

TEL 025-545-6500

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	11,283		713		718		406	
20年3月期第2四半期	10,449	6.7	673	13.3	692	10.7	378	23.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	76.03	
20年3月期第2四半期	70.73	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	19,704	8,219	8,219	8,219	41.7	1,536.10
20年3月期	18,342	8,200	8,200	8,200	44.7	1,532.64

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 8,219百万円 20年3月期 8,200百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期				24.00	24.00
21年3月期				24.00	24.00
21年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	5.7	1,950	0.3	2,000	2.9	1,100	3.1	205.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名) ) 除外 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 5,364,000株 20年3月期 5,364,000株

期末自己株式数 21年3月期第2四半期 13,120株 20年3月期 13,120株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 5,350,880株 20年3月期第2四半期 5,350,880株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日発表の通期連結業績予想を修正していません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適正指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や原油・原材料価格の一段の高騰により、企業収益の悪化による設備投資の減少、個人消費の停滞が強まり、景気は減速から後退局面の色合いが強まる展開となってまいりました。

設備工事業界におきましては、民間設備投資は減速感が強まり、業者間の受注競争は激しくなっております。

このような状況下で当社グループは、プラント設備の他、設備投資が比較的好調な液晶、太陽電池関連設備等の機械装置分野に営業の拡大を図ってまいりました。この結果、設備工事業は好調に推移し、表面処理事業、その他の事業の落ち込みをカバーし、連結受注高は18,072百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

当第2四半期のセグメント別では、設備工事業においては、売上高は前年同期と比較し前期繰越工事の第2四半期での完成工事と上半期の受注が好調に推移した結果、10,485百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は、増収効果により810百万円（前年同期比18.6%増）、表面処理事業は、現地通貨パーツでの売上高は前年同期並みでありましたが、為替の影響を受け、売上高565百万円（前年同期比19.3%減）、営業利益132百万円（前年同期比28.9%減）、その他の事業は機械販売が低調であったため、売上高232百万円（前年同期比24.7%減）、営業利益2百万円（前年同期比90.2%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は11,283百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は増収効果により713百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は718百万円（前年同期比3.8%増）、四半期純利益は406百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （総資産）

当第2四半期末の総資産は19,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,362百万円増加しました。主に繰越工事の増加に伴う未成工事支出金の増加等により総資産が増加しました。

#### （流動資産）

当第2四半期末における流動資産の残高は15,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,499百万円増加しました。主に未成工事支出金の増加によるものであります。

#### （固定資産）

当第2四半期末における固定資産の残高は4,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少しました。

#### （流動負債）

当第2四半期末における流動負債の残高は10,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,390百万円増加しました。主に支払手形・工事未払金等、未成工事受入金等の増加によるものであります。

#### （固定負債）

当第2四半期末における固定負債の残高は930百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。

#### （純資産）

当第2四半期末における純資産の残高は8,219百万円となりました。利益剰余金は前連結会計年度末に比べ278百万円増加しましたが、為替換算差額により純資産は前連結会計年度末に比べ18百万円の増加に止まりました。

この結果、自己資本比率は総資産の増加による影響により41.7%となり、前連結会計年度末の44.7%から3ポイント低下しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、設備工事業、表面処理事業、その他事業とも、受注高は現在まで概ね予定通り推移しており、平成20年5月15日発表の業績予想（決算短信）の変更はありません。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

その他のたな卸資産については、先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ4,388千円、税金等調整前四半期純利益は、15,807千円減少しております。

5【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,765,172	2,387,853
受取手形・完成工事未収入金等	7,409,446	8,585,058
有価証券	—	19,970
未成工事支出金	4,817,850	2,547,193
その他のたな卸資産	192,287	184,822
繰延税金資産	308,146	307,738
その他	129,813	98,147
貸倒引当金	△10,562	△18,394
流動資産合計	15,612,154	14,112,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,173,692	3,135,047
機械、運搬具及び工具器具備品	1,928,408	2,029,929
土地	1,204,021	1,215,354
建設仮勘定	46,410	69,489
減価償却累計額	△2,960,136	△2,965,246
有形固定資産合計	3,392,397	3,484,574
無形固定資産	104,362	103,918
投資その他の資産		
投資有価証券	348,655	383,548
繰延税金資産	119,240	131,057
その他	154,830	153,563
貸倒引当金	△26,781	△26,872
投資その他の資産合計	595,944	641,297
固定資産合計	4,092,704	4,229,790
資産合計	19,704,858	18,342,180
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,750,043	4,117,010
短期借入金	1,098,775	748,725
未払金	1,734,742	1,789,911
未払費用	252,838	267,856
未払法人税等	285,880	494,255
未成工事受入金	1,805,324	1,012,542
完成工事補償引当金	25,191	22,998
工事損失引当金	8,500	—
賞与引当金	524,115	610,674
役員賞与引当金	30,000	60,000
その他	39,188	40,570
流動負債合計	10,554,600	9,164,545

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	35,662	82,450
退職給付引当金	672,146	678,810
役員退職慰労引当金	222,978	215,391
固定負債合計	930,787	976,651
負債合計	11,485,388	10,141,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,320	885,320
資本剰余金	1,475,320	1,475,320
利益剰余金	6,057,598	5,779,205
自己株式	△6,485	△6,485
株主資本合計	8,411,752	8,133,359
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,020	29,089
為替換算調整勘定	△217,303	38,534
評価・換算差額等合計	△192,282	67,624
純資産合計	8,219,470	8,200,984
負債純資産合計	19,704,858	18,342,180

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	11,283,322
売上原価	9,438,594
売上総利益	1,844,727
販売費及び一般管理費	1,131,363
営業利益	713,363
営業外収益	
受取利息	3,893
受取配当金	3,879
受取地代家賃	15,018
その他	20,304
営業外収益合計	43,096
営業外費用	
支払利息	11,383
債権売却損	7,875
コミットメントフィー	5,260
有価証券評価損	12,940
その他	753
営業外費用合計	38,212
経常利益	718,246
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,921
特別利益合計	7,921
特別損失	
固定資産処分損	2,685
固定資産売却損	645
投資有価証券評価損	15,930
たな卸資産評価損	11,419
その他	120
特別損失合計	30,801
税金等調整前四半期純利益	695,367
法人税等	288,552
四半期純利益	406,814

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額 (千円)
I 売上高	
完成工事高	10,449,930
II 売上原価	
完成工事原価	8,680,257
完成工事総利益	1,769,673
III 販売費及び一般管理費	1,096,207
営業利益	673,466
IV 営業外収益	54,179
V 営業外費用	35,485
経常利益	692,159
VI 特別利益	21,773
VII 特別損失	36,940
税金等調整前中間純利益	676,992
法人税等	298,535
中間純利益	378,457

(2) 受注の状況

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日) (千円)	第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) (千円)	増減 (千円)	増減率 (%)
設備工事業				
産業プラント設備工事	7,841,755	8,244,267	402,512	5.1
設備保全工事	3,084,634	4,054,131	969,496	31.4
電気計装工事	2,478,550	3,315,472	836,921	33.8
送電工事	765,682	827,292	61,609	8.0
管工事	869,186	784,730	△84,455	△9.7
小計	15,039,809	17,225,893	2,186,083	14.5
表面処理事業	700,340	565,093	△135,246	△19.3
鋳造用工業炉	295,055	281,893	△13,161	△4.5
合計	16,035,205	18,072,881	2,037,675	12.7